

「独自」と表記がある設問は、国の調査「こども・若者の意識と生活に関する調査(15～39歳)」にない、独自で追加した項目です。 ↓					
項目	設問番号	設問内容	選択肢	備考	質問する目的→回答をもとに検討
本人について (基本属性)	1	あなたの性別を教えてください。（あてはまるもの1つに○）	1. 男 2. 女 3. その他（どちらともいえない、わからない、答えたくない）		【目的】性別ごとのニーズの違いを把握 【仮説】悩みや生活実態、キャリア観、結婚観などに傾向の違いが見られる可能性 【検討】性別ごとで施策の必要性を検討
	2	あなたの年齢（令和●年●月●日現在）を教えてください。（あてはまるもの1つに○）	（ ）歳		【目的】年齢層による意識や生活実態、抱える課題の違いを把握 【仮説】学業、就業、結婚、子育てといったライフステージに大きく関わる可能性 【検討】各年代に応じた施策の必要性を検討
	3	あなたは誰と一緒に住んでいますか。（あてはまるものすべてに○）	1. 父 2. 母 3. きょうだい 4. 祖父母 5. 配偶者・パートナー 6. 子 7. 親戚 8. 同居している人はいない（単身世帯） 9. 答えたくない 10. その他（ ）		【目的】同居家族の有無や関係性（例：一人暮らし、親と同居、配偶者と同居など）による生活環境の把握 【仮説】経済状況や精神的な支えの有無、生活の安定性に影響する可能性 【検討】世帯状況に応じて必要な支援の方向性の検討 ※人数も併せて記入いただくことも可能
	4	あなたの家の生計を立てている方はどなたですか。（あてはまるもの1つに○） ※生計を立てている方が複数いる場合は、最も多く家計を負担している人 ※主に仕送りで生計を立てている方は、その仕送りを主にしてくれている人	1. あなた自身 2. 父 3. 母 4. 配偶者・パートナー 5. きょうだい 6. 子 7. 親戚 8. その他（ ）		【目的】経済的な状況の把握 【検討】経済的自立度や就労状況と家族構成との関連性から、必要な支援策の検討
	5	現在、あなたの暮らしの状況をどのように感じていますか。（あてはまるもの1つに○）	1. 大変苦しい 2. やや苦しい 3. 普通 4. ややゆとりがある 5. ゆとりがある		【目的】現在の生活に対する、本人の主観的な感情や認識を把握 【検討】重要な指標として、客観的・多角的な現状から、今後の施策の方向性の検討
	6	あなたの健康状態はどうですか。（あてはまるもの1つに○）	1. よい 2. まあよい 3. 普通 4. あまりよくない 5. よくない	独自	【目的】心身に健康上の課題を抱える子ども・若者の割合（内容）を把握 【仮説】健康状態が学業、就業、社会参加など幅広い面に影響する可能性 【検討】健康状況に課題を抱える子ども・若者が、他の内容への影響を抑えるための今後の支援の在り方の検討
生活習慣について	7	あなたは現在、子ども会や地域の行事などにどの程度参加していますか。また、過去にどの程度参加していましたか。（あてはまるものそれぞれ1つに○）		独自	【目的】地域の行事への参加状況の把握 【仮説】子どもの頃と比べ、若者での参加は減少する可能性 【検討】若者の地域への参加状況から、地域の潜在的な担い手を発掘できる可能性の検討
		（1）現在	1. よく参加している 2. 時々参加している 3. 参加したことがない		
		（2）過去	1. よく参加していた 2. 時々参加していた 3. 参加したことがない		
	7a	前の質問（設問番号7）の（2）過去で1～2と答えた方にお聞きます。何歳ごろまで参加していましたか。（あてはまるもの1つに○）	1. 10歳未満 2. 10～14歳 3. 15～19歳 4. 20～29歳 5. 30～39歳	独自	
	8	あなたは普段どのくらい外に出かけますか。（あてはまるもの1つに○）	1. 仕事や学校、買い物、習い事で平日は毎日、外に出かける 2. 仕事や学校、買い物、習い事で週に3～4日、外に出かける 3. 仕事や学校には行かないが、遊びなどでよく外に出かける 4. 仕事や学校には行かないが、人付き合いのためにとときどき外に出かける 5. 普段は家にいるが、自分の趣味や家庭の用事などのときだけ外に出かける 6. 普段は家にいるが、近くのコンビニなどには出かける 7. 自分の部屋からは出るが、家からは出ない 8. 自分の部屋からはほとんど出ない		
	8a	前の質問（設問番号8）で3～8と答えた方にお聞きます。あなたの外出状況が今のようになってから、どのくらい経ちますか。（あてはまるもの1つに○）	1. 3か月未満 2. 3か月～6か月未満 3. 6か月～1年未満 4. 1年～2年未満 5. 2年～3年未満 6. 3年～5年未満 7. 5年～7年未満 8. 7年～10年未満 9. 10年～15年未満 10. 15年～20年未満 11. 20年～25年未満 12. 25年～30年未満 13. 30年以上		【目的】社会参加の状況や「引きこもり」、またそれに近い状態にある子ども・若者の実態を把握 【仮説】外出頻度やその状態の継続期間、きっかけや理由から孤立背景の理解につながる可能性 【検討】社会との接点を生み出す施策の検討
	8b	前の質問（設問番号8）で3～8と答えた方にお聞きます。あなたの外出状況が今のようになった主な理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）	1. まわりの人との付き合いがうまくいかなかったこと 2. 学校にうまくなじめなかったこと 3. 学生時代の不登校 4. 受験がうまくいかなかったこと 5. 就職活動がうまくいかなかったこと 6. 職場になじめなかったこと 7. 退職したこと 8. 自宅で仕事をするようになったこと 9. 妊娠や出産したこと 10. 病気になったこと 11. 家族の介護や看護をすることになったこと 12. 新型コロナウイルス感染症が流行したこと☑ 13. 特に理由はない 14. わからない 15. その他（具体的に： ）		
	9	最近6か月間に、家族以外の人と会話をしましたか。（あてはまるもの1つに○）	1. よく会話をしている 2. とときどき会話をしている 3. ほとんど会話をしていない 4. まったく会話をしていない		【目的】子ども・若者が感じている孤立感や社会とのつながりの有無を把握 【仮説】家族以外の会話の頻度が孤独感に影響する可能性 【検討】孤立しやすい若者の支援や、地域での居場所づくりの検討
居場所について	10	あなたはどの程度、孤独だと感じることがありますか。（あてはまるもの1つに○）	1. まったくない 2. ほとんどない 3. 時々ある 4. いつもある	独自	
	11	あなたが普段自宅（暮らしている場所）にいるときによくしていることは何ですか。（あてはまるものすべてに○）	1. テレビを見る 2. 音楽やラジオを聴く 3. 本を読む 4. 新聞を読む 5. 勉強をする 6. 仕事をする 7. 家事をする 8. 育児をする 9. 介護・看護をする 10. 運動をする 11. ゲームをする 12. インターネットをする 13. メールやSNSをする 14. 寝転がっている 15. あてはまるものはない		【目的】日常生活、特に自宅での過ごし方や活動の実態を把握 【検討】自宅での過ごし方を通じて、興味・関心やライフスタイル、行動範囲が限られる背景などに対する支援の検討
	12	あなたにとって「居場所」はどこですか。（あてはまるもの3つまで○）	1. 自宅（自分の部屋） 2. 自宅（リビングなど自分の部屋以外） 3. 祖父母や親せきの家 4. 友だちの家 5. インターネット空間（SNS・動画サイト・オンラインゲームなど） 6. 現在通っている学校（教室・図書室など） 7. 卒業した学校 8. 部活動・クラブ活動・サークル活動の場所（過去に活動していた場所を含む） 9. フリースクール 10. 居場所スペース（フリースペースなど） 11. 塾や習い事の場所 12. 公園・児童館・図書館 13. 職場・アルバイト先 14. 飲食店（カフェやファミレスなど） 15. 娯楽施設（ゲームセンターやカラオケボックスなど） 16. 作業スペース（ワーキングコアスペース、ネットカフェ、アトリエなど） 17. 趣味のための場所やカルチャースクール 18. その他（ ） 19. わからない 20. 居場所はない	独自	【目的】子ども・若者の「居場所」について、現在の状況や理想像を把握 【検討】安心感や自己肯定感を育み、社会性を養う「居場所」に関する子ども・若者の認識から、今後の居場所づくりの施策の検討

項目	設問番号	設問内容	選択肢	備考	質問する目的→回答をもとに検討				
	12a	(設問番号12の続き) また、その「居場所」を選んだ理由としては、どちらに近いですか。(あてはまるもの1つに○)		独自					
		(1) 人の部分 (どちらにも同じくらいあてはまる場合は5に○)	一人で過ごすため 0 — 10 他の人と交流するため 11. 特にない、わからない						
		(2) 目的の部分 (どちらにも同じくらいあてはまる場合は5に○)	リラックスのため 0 — 10 自分の成長のため 11. 特にない、わからない						
悩み・相談先について	13	あなたは、今、自分自身について悩んでいることや困っていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)	1. 親(保護者)のこと 2. 配偶者(パートナー)のこと 3. 親(保護者)・配偶者(パートナー)以外の家族のこと 4. 家族の介護や看護のこと 5. 家計のこと 6. 友人のこと 7. 学校生活のこと 8. 勉強や受験・進路のこと 9. 部活動・クラブ活動・サークル活動のこと 10. 塾・習い事のこと 11. 就職や職場のこと 12. 将来のこと 13. 身体のこと 14. 性・恋愛のこと 15. LINE・X(旧Twitter)・InstagramなどSNS上のこと 16. その他() 17. 悩んでいることや困っていることはない	独自	【目的】現在抱えている悩みや困りごと、相談相手の有無を把握 【仮説】悩みの有無や相談先の有無が、孤立の状況に影響する可能性 【検討】相談体制や支援のあり方の検討				
		14	あなたには、困ったときに相談したり、悩みを話せる人がいますか。また、そのことで助けてくれる人はいますか。(あてはまるものそれぞれ1つに○)	独自					
	(1) 相談したり、悩みを話せる人		1. いる 2. いない						
	14a	(2) 助けてくれる人	1. いる 2. いない						
		前の質問(設問番号17)で「1. いる」と答えた方にお聞きます。 あなたが、社会生活や日常生活を円滑に送ることができない状態となった場合に、どういった人に相談しますか。または、相談しましたか。また、どういった人に助けてもらいますか。または、助けてもらいましたか。(あてはまるものすべてに○)							
	14b	(1) 相談したり、悩みを話せる人		1. 親(保護者) 2. 配偶者・パートナー 3. きょうだい 4. 祖父母やその他の親族 5. 友だち 6. 学校の先生・保健室の先生 7. スクールカウンセラーなど学校にいる専門家 8. 地域の大人(近所の人・塾や習い事の先生など) 9. 職場・アルバイト先の上司・同僚 10. 病院や相談できる場所などにいる専門家(学校以外の専門家) 11. インターネット上の知り合い 12. 市役所や保健センターなど公的な相談窓口の人 13. その他(具体的に:)		独自			
		(2) 助けてくれる人	1. 親(保護者) 2. 配偶者・パートナー 3. きょうだい 4. 祖父母やその他の親族 5. 友だち 6. 学校の先生・保健室の先生 7. スクールカウンセラーなど学校にいる専門家 8. 地域の大人(近所の人・塾や習い事の先生など) 9. 職場・アルバイト先の上司・同僚 10. 病院や相談できる場所などにいる専門家(学校以外の専門家) 11. インターネット上の知り合い 12. 市役所や保健センターなど公的な相談窓口の人 13. その他(具体的に:)						
	14b	前の質問(設問番号17)で「2. いない」と答えた方にお聞きます。 相談したり、助けてもらおうと思わない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)	独自					【目的】困難な状況に直面した際の支援の求め方や、支援を求めない理由を把握 【仮説】悩みの有無や相談先の有無が、孤立の状況に影響する可能性 【検討】支援ニーズや相談に至らない背景から、今後の支援体制や周知の工夫を検討する必要性	
		(1) 相談したり、悩みを話せる人		1. 相談しても解決できないと思うから 2. 自分ひとりで解決するべきだと思うから 3. 誰にも知られたくないことだから 4. 自分が変な人に思われるのではないかと不安だから 5. 自分の欠点や失敗を悪く言われそうだから 6. 相手がどんな人かわからないから 7. 何を聞かれるか不安に思うから 8. 嫌なこと、できないことをするように言われそうだから 9. 相手にうまく伝えられないから 10. 裏切られたり、失望したりするのが嫌だから 11. お金がかかると思うから 12. その他(具体的に:) 13. 特に理由はない、わからない			独自		
		(2) 助けてくれる人		1. 相談しても解決できないと思うから 2. 自分ひとりで解決するべきだと思うから 3. 誰にも知られたくないことだから 4. 自分が変な人に思われるのではないかと不安だから 5. 自分の欠点や失敗を悪く言われそうだから 6. 相手がどんな人かわからないから 7. 何を聞かれるか不安に思うから 8. 嫌なこと、できないことをするように言われそうだから 9. 相手にうまく伝えられないから 10. 裏切られたり、失望したりするのが嫌だから 11. お金がかかると思うから 12. その他(具体的に:) 13. 特に理由はない、わからない					
15	乗東市内や周辺で、子ども・若者が悩みや困りごとを相談できる場所があることを知っていますか。(あてはまるもの1つに○)	1. 知っている場所がある 2. 知っている場所がない		【目的】行政や地域の相談窓口に関する認知・利用実態、子ども・若者のニーズの把握 【仮説】相談窓口の利用が進まない背景を明らかにし、相談支援が必要な人は相談先を知らない、または、相談したくない理由がある可能性 【検討】相談支援の質向上や広報方法の改善、専門性の強化など、子ども・若者視点での施策の改善の検討					
16	これまでに子ども・若者を対象とした相談窓口を利用したことはありますか。 ※市内・市外は問いません。(あてはまるもの1つに○)	1. ある 2. ない							
17	あなたは、困ったり悩んだりしたとき、これらの機関(子ども・若者の悩みや困りごとを相談できる窓口)を利用したいと思いますか。(あてはまるもの1つに○)	1. 利用したいと思う 2. どちらかといえば、利用したいと思う 3. どちらかといえば、利用したいと思わない 4. 利用したいと思わない							
17a	前の質問(設問番号20)で3-4と答えた方にお聞きます。 あなたが、子ども・若者の悩みや困りごとを相談できる窓口を利用したいと思わない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)	1. 相談できる人が身近にいないので、利用する必要があるから 2. 相談しても 解決できないと思うから 3. 自分ひとりで解決するべきだと思うから 4. 誰にも知られたくないことだから 5. 自分が変な人に思われるのではないかと不安だから 6. 自分の欠点や失敗を悪く言われそうだから 7. 相手がどんな人かわからないから 8. 何を聞かれるか不安に思うから 9. 嫌なこと、できないことをするように言われそうだから 10. 相手にうまく伝えられないから 11. 裏切られたり、失望するのがいやだから 12. お金がかかると思うから 13. その他() 14. 特に理由はない、わからない	独自						
18	あなたは、相談するとしたら、相談先にどのようなことを望みますか。(あてはまるものすべてに○)	1. 匿名で(自分が誰か知られずに)相談できる 2. 秘密が守られる 3. 自分と同じくらいの年齢の人に相談できる 4. 自分と同じ性別の人に相談できる 5. 専門家の人に相談できる 6. 電話で相談できる 7. SNS(LINE・X(旧Twitter)など)やメールで相談できる 8. 曜日や時間を気にせずに相談できる 9. 相談できる場所が自宅から近い 10. 相談する相手が自宅に来てくれる 11. 無料で相談できる 12. その他() 13. 望むことは特にない	独自						

項目	設問番号	設問内容	選択肢	備考	質問する目的→回答をもとに検討	
インターネットの利用について	19	あなたは、スマートフォンやパソコンなどを使って、1日に大体何時間くらいインターネット（SNS・動画サイト・オンラインゲームなど）を利用していますか。（あてはまるものそれぞれ1つに○）		独自	【目的】 インターネット利用状況の把握 【仮説】 情報格差が生じている可能性 【検討】 情報源やコミュニケーション手段としての側面を踏まえ、課題や今後の情報発信、オンライン支援についての検討	
		（1）平日	1. 0時間～1時間未満 2. 1時間～2時間未満 3. 2時間～3時間未満 4. 3時間～5時間未満 5. 5時間～8時間未満 6. 8時間以上 7. 全く利用していない			
		（2）休日	1. 0時間～1時間未満 2. 1時間～2時間未満 3. 2時間～3時間未満 4. 3時間～5時間未満 5. 5時間～8時間未満 6. 8時間以上 7. 全く利用していない			
	20	あなたは、青少年に不適切なサイト（出会い系サイトやアダルトサイトなど）やネットいじめの問題など、インターネットの危険性について、これまで学校や家庭、パンフレットやYouTubeなどのインターネットで説明を受けたり学んだりしたことがありますか。（あてはまるもの1つに○）	1. 説明を受けたり、学んだりしたことがある 2. 説明を受けたり、学んだりしたことがない 3. わからない	独自	【目的】 インターネット利用における危険性への認識や、トラブル経験の有無を把握 【仮説】 インターネットの普及に伴い、利用時間が増えることで、ネットトラブルに合うことが増えてくる可能性 【検討】 情報リテラシー教育やトラブル対応に関する支援体制の強化の検討	
21	あなたは、インターネットを利用して、次のようなトラブルにあったことがありますか。（あてはまるものすべてに○）	1. 知らない料金を請求された 2. 知らないうちに会員登録や契約をしてしまった 3. インターネットショッピングなどで買った商品が届かなかったり不良品が届いたりした 4. オンラインゲームで、アイテムがなくなったり、ゲームができなくなったり、課金するつもりがなかったのに課金した 5. LINEやX（旧Twitter）、メールなどで、馬鹿にされたりいやがらせを受けたりした 6. 名前や住所、メールアドレスなどの自分のことや写真を勝手に使用された 7. 迷惑メールがたくさん送られてきた 8. コンピュータウイルスに感染した 9. つきまとい、いやがらせなどをされた 10. その他（ ） 11. 被害にあったことはない	独自			
あなた自身の現状や将来について	22	あなたにあてはまるものを選んでください。（あてはまるもの1つに○）	1. 学生（進学のために勉強している人も含む） 2. 学生以外		【目的】 学歴や就業状況から学業から就業への移行状況の把握 【検討】 キャリア形成の現状から必要な支援の方向性の検討	
	23	あなたが最後に卒業（中退を含む）した学校はどこですか。在学中の方は、在学している学校をお答えください。（あてはまるもの1つに○）	1. 中学校 2. 高等学校（全日制） 3. 高等学校（定時制・通信制・サポート校） 4. 専修学校・専門学校 5. 短期大学 6. 5年制の高等専門学校（高専） 7. 大学 8. 大学院 9. 答えたくない 10. その他（ ）			
	24	設問番号22で「2. 学生以外」と答えた方にお聞きます。あなたの現在の仕事（複数ある場合は主なもの）を教えてください。（あてはまるもの1つに○）	1. パート・アルバイト 2. 非正規職員（派遣・嘱託など） 3. 正規の社員・職員・従業員 4. 会社などの役員 5. 自営業・自由業 6. 家族従業者・内職 7. その他の仕事（ ） 8. 専業主婦・主夫 9. 家事手伝い 10. 無職（仕事を探している） 11. 無職（仕事を探していない） 12. 答えたくない			
	25	あなたの就業経験についてお聞きます。（あてはまるもの1つに○）	1. 現在、就業している 2. 現在は就業していないが、過去に就業経験がある 3. これまでに就業経験はない 4. 答えたくない		【目的】 若者のキャリア観や職業選択における価値観の把握 【検討】 仕事に求めることに合致した就労支援、情報提供などの検討	
	26	あなたが仕事を選ぶうえで重視していることはどのようなことですか。（あてはまるもの3つまで○）	1. 職場の雰囲気や人間関係が良いこと 2. 仕事にやりがいを感じられること 3. 給料が高いこと 4. 通勤の便など、地理的条件が良いこと 5. 正社員、正規職員で働くこと 6. 残業や休日出勤が少ないこと 7. 実力を適正に評価してくれること 8. 専門的な知識や技能が身につく、能力を活かせること 9. 子育てや親の介護などが必要になっても働きやすいこと 10. 長い年数働き続けられること 11. 労働時間が短いこと 12. わからない、考えていない	独自		
	27	あなたが今までに、社会生活や日常生活を円滑に送ることができない状態となったことがありましたか。または、現在ありますか。（あてはまるもの1つに○）	1. 過去にあった 2. 現在そうである 3. なかった（ない） 4. わからない、答えたくない		【目的】 困難な経験の有無と、改善のきっかけの把握 【仮説】 困難な経験が過去にあった人は、その状態を改善する行動やきっかけに出合っている可能性 【検討】 困難な状況からの回復過程や有効な支援に関する貴重な経験情報としての検討	
	27a	前の質問（設問番号27）で「1. 過去にあった」と答えた方にお聞きます。状態が改善したきっかけや改善に役立ったことは何だと思えますか。（あてはまるものすべてに○）	1. 家族やその他の親族の助け 2. 友だちの助け 3. 学校の先生・保健室の先生に相談したこと 4. スクールカウンセラーなど学校にいる専門家に相談したこと 5. 地域の人（近所の人・塾や習い事の先生など）の助け 6. 病院に行って相談したこと 7. 相談できる場所に行って相談したこと☑ 8. 電話相談を利用したこと 9. SNSやメール相談などを利用したこと 10. 同じようにうまくいかなかった経験をした人に話してみたこと 11. 趣味の活動に参加したこと 12. 時間が経って状況が変化したこと 13. 引越したり転校、クラス替えなどがあって、まわりの環境が変わったこと 14. 自分の努力で乗り越えたこと 15. 職場・アルバイト先の上司・同僚に相談したこと 16. 就職・転職したこと 17. その他（具体的に： ） 18. わからない、答えられない			
	28	あなたは今、自分が幸せだと思いますか。（あてはまるもの1つに○）	1. そう思う 2. どちらかといえば、そう思う 3. どちらかといえば、そう思わない 4. そう思わない			
	29	あなたは、「社会のために役立つことをしたい」と思っていますか。（あてはまるもの1つに○）	1. そう思う 2. どちらかといえば、そう思う 3. どちらかといえば、そう思わない 4. そう思わない		【目的】 社会貢献意識の把握 【仮説】 他の調査項目（生活実態、悩み、人間関係など）が地域活動への参加意欲に影響する可能性 【検討】 ボランティアや地域活動への参加を促すための方策の検討	
	30	あなたは、自分の将来について明るい希望がありますか。（あてはまるもの1つに○）	1. 希望がある 2. どちらかといえば、希望がある 3. どちらかといえば、希望がない 4. 希望がない		【目的】 将来に対する希望や展望を把握 【仮説】 将来への見通しは精神的な健康や意欲に直結する可能性 【検討】 将来への見通しを立てるために支援の方向性の検討	
		31	あなた自身について、次のことがどのくらいあてはまりますか。（あてはまるものそれぞれ1つに○）			【目的】 自己肯定感・自己効力感など、内面的な特性の把握 【仮説】 他の調査項目（生活実態、悩み、人間関係など）が子ども・若者の現状や将来の考えに影響する可能性 【検討】 心の成長や社会参加の支援の検討
			（1）今の自分が好きだ	1. あてはまる 2. どちらかといえば、あてはまる 3. どちらかといえば、あてはまらない 4. あてはまらない		
			（2）自分の親（保護者）から愛されていると思う	1. あてはまる 2. どちらかといえば、あてはまる 3. どちらかといえば、あてはまらない 4. あてはまらない		
			（3）うまくいくかわからないことにも頑張って取り組む	1. あてはまる 2. どちらかといえば、あてはまる 3. どちらかといえば、あてはまらない 4. あてはまらない		
			（4）自分は役に立たないと強く感じる	1. あてはまる 2. どちらかといえば、あてはまる 3. どちらかといえば、あてはまらない 4. あてはまらない		
（5）自分には自分らしさがあると思う			1. あてはまる 2. どちらかといえば、あてはまる 3. どちらかといえば、あてはまらない 4. あてはまらない			
（6）自分の欲しいものを我慢することが苦手だ			1. あてはまる 2. どちらかといえば、あてはまる 3. どちらかといえば、あてはまらない 4. あてはまらない			
（7）今の自分を変えたいと思う			1. あてはまる 2. どちらかといえば、あてはまる 3. どちらかといえば、あてはまらない 4. あてはまらない			
（8）将来よりも今の生活を楽しみたい			1. あてはまる 2. どちらかといえば、あてはまる 3. どちらかといえば、あてはまらない 4. あてはまらない			
（9）努力すれば希望する職業に就けると思う			1. あてはまる 2. どちらかといえば、あてはまる 3. どちらかといえば、あてはまらない 4. あてはまらない			
（10）自分の将来は運やチャンスによって決まると思う	1. あてはまる 2. どちらかといえば、あてはまる 3. どちらかといえば、あてはまらない 4. あてはまらない					

項目	設問番号	設問内容	選択肢	備考	質問する目的→回答をもとに検討
		(11) 人生に起こることは、結局は自分に原因があると思う	1. あてはまる 2. どちらかといえば、あてはまる 3. どちらかといえば、あてはまらない 4. あてはまらない		
		(12) 他人に迷惑が掛からない限り、どんな考えや行動をしようが、自分の自由だと思う	1. あてはまる 2. どちらかといえば、あてはまる 3. どちらかといえば、あてはまらない 4. あてはまらない		
		(13) 自分らしさを強調するよりも、他人と同じことをしていると安心だ	1. あてはまる 2. どちらかといえば、あてはまる 3. どちらかといえば、あてはまらない 4. あてはまらない		
		(14) 自分の考えをはっきり相手に伝えることができる	1. あてはまる 2. どちらかといえば、あてはまる 3. どちらかといえば、あてはまらない 4. あてはまらない		
		(15) 自分は社会や地域の役に立っていると感じる	1. あてはまる 2. どちらかといえば、あてはまる 3. どちらかといえば、あてはまらない 4. あてはまらない	独自	
		(16) 自分の考えや意見を社会に発信したいと思う	1. あてはまる 2. どちらかといえば、あてはまる 3. どちらかといえば、あてはまらない 4. あてはまらない	独自	
		(17) 自分自身に満足している	1. あてはまる 2. どちらかといえば、あてはまる 3. どちらかといえば、あてはまらない 4. あてはまらない		
	32	あなたは、18歳未満の「ヤングケアラー」と18歳から概ね30歳台までの「若者ケアラー」という言葉を聞いたことがありますか。（あてはまるものそれぞれ1つに○）		独自	【目的】ヤングケアラー、若者ケアラーの認知度 【検討】家族の世話による影響と支援の検討
		(1) ヤングケアラー	1. 聞いたことがあり、内容も知っている 2. 聞いたことがあるが、よく知らない 3. 聞いたことはない		
		(2) 若者ケアラー	1. 聞いたことがあり、内容も知っている 2. 聞いたことがあるが、よく知らない 3. 聞いたことはない		
	33	あなたは、「自分はヤングケアラー・若者ケアラーにあてはまる」と思いますか。（あてはまるもの1つに○）	1. あてはまる 2. あてはまらない 3. わからない		
	結婚についてお聞きます。				【目的】結婚観や実態の把握 【仮説】結婚を希望している人で結婚に向けたサポートを希望している人は多い可能性 【検討】結婚に関する価値観や障壁を明らかにし、結婚支援や少子化対策を検討
	34	あなたは今後結婚したいと思いますか。（あてはまるもの1つに○）	1. すでに結婚している（事実婚を含む） 2. 現在すでに予定がある・決まっている 3. 現在予定はないが、ぜひしたい 4. 現在予定はないが、できればしたい 5. どちらでもいいと思う 6. できればしたくない 7. したくない	独自	
	34a	前の質問（設問番号34）で3～4と答えた方にお聞きます。 あなたは、何歳くらいに結婚したいと思いますか。	() 歳くらいに結婚したい	独自	
	35	設問番号34で1～4と答えた方にお聞きます。 結婚がしやすいと思える環境をつくるには、どのようなサポートがあればよいと考えますか。	1. 男女の出会いの場の提供 2. 夫婦ともに働き続けられるような職場環境の充実 3. 安定した雇用機会の提供 4. 若いうちから自身のライフプランを考える機会の提供 5. 結婚した方が有利になるような税制や社会保障 6. 結婚に関する相談体制 7. 結婚に対する資金貸与や補助支援 8. 安定した住居の供給、住宅に対する補助支援 9. 女性が働きやすい環境づくり 10. 長時間労働の是正、有給休暇の取得促進など、自由な時間の確保 11. 妊娠・出産や子育てに関する支援の充実 12. 支援は必要ない 13. その他（☒ ）	独自	
結婚・出産について	妊娠・出産・子育てについてお聞きます。				【目的】子どもに対する希望や子育てに対する意識・課題の把握および合計特殊出生率が高い理由の把握 【仮説】子どもを希望する人は、妊娠出産や子育てへのサポートを希望する人が多い可能性 【検討】少子化の背景にある要因を明らかにし、支援策（経済的支援、ワークライフバランス等）の検討および、人口定着（特に、30～40歳代の流出抑制）に向けた施策の検討
	36	あなたの理想として、自分の子どもがいてほしいと思いますか。（あてはまるもの1つに○）	1. はい 2. いいえ 3. わからない 4. 答えたくない	独自	
	36a	前の質問（設問番号37）で「1. はい」と答えた方にお聞きます。 あなたが理想とする数のお子さんについて、今後、実際にいるだろうと思いますか。（あてはまるもの1つに○）	1. すでにいる 2. いると思う 3. どちらかといえば、いると思う 4. どちらかといえば、いると思わない 5. いると思わない	独自	
	37	設問番号36で「1. はい」と答えた方にお聞きます。 妊娠出産や子育てがしやすいと思える環境をつくるには、どのようなサポートがあればよいと考えますか。	1. 出産、育児に対する資金貸与や補助支援 2. 安定した住居の供給、住宅に対する補助支援 3. 女性が働きやすい環境づくり 4. 長時間労働の是正、有給休暇の取得促進など、自由な時間や育児時間の確保 5. 産休・育休制度の充実 6. 妊娠・出産・子育てに関する相談・地域のサポート体制の充実 7. 妊娠・出産時の経済的負担の軽減 8. 子どもの人数に応じた経済的な支援 9. 預け先（保育所・こども園・幼稚園）の施設数やサービス内容の充実 10. 子育てがしやすい税制や社会保障 11. 学校などの教育環境の充実 12. 子どもの安全を確保する対策の充実 13. 小児救急など安心して子どもが医療機関を利用できる体制 14. 支援は必要ない 15. その他（☒ ）	独自	
	38	あなたは今後も栗東市に住み続けたいと思いますか。（あてはまるもの1つに○）	1. 住み続けたい 2. 進学・就職・転勤などで市を離れる（離れるかもしれない）が、ゆくゆくは戻りたい 3. できれば市外に移りたい 4. わからない	独自	【目的】若者の定住意向とその背景の把握 【検討】地域の魅力や課題を明らかにし、若者が住み続けたいと思えるまちづくりの検討
	38a	前の質問（設問番号38）で1～2と答えた方にお聞きます。 住み続けたい理由を教えてください。（あてはまるものすべてに○）	1. 住みやすいから、住み慣れているから 2. 家族や友人がいるから 3. 地域の人といい関係を築けているから 4. 自然豊かで環境が良いから 5. 故郷への愛着や思い出があるから 6. 家や学校以外で安心できる場所やお気に入りの場所があるから 7. 子育てしやすい（または将来子どもを持った時に子育てしやすい）と思うから 8. 楽しいイベントや祭りがあるから 9. 商業施設が充実しているから 10. その他（ ）		
	38b	前の質問（設問番号38）で「3. できれば市外に移りたい」と答えた方にお聞きます。 住み続けたくない理由を教えてください。（あてはまるものすべてに○）	1. 他の地域に行ってみたいから、住んでみたいから 2. 進学先や就職先が少ないから 3. 商業施設が少ないから 4. 交通の便が悪いから 5. 防犯・防災体制が不十分 6. 医療・福祉サービスが不十分 7. 他の地域の方が、子育て環境がいいから 8. 遊ぶ場所が少ないから 9. その他（ ）		

項目	設問番号	設問内容	選択肢	備考	質問する目的→回答をもとに検討
行政（栗東市） に求める施策について	39	あなたは、子どもが意見を表明する権利について知っていますか。（あてはまるもの1つに○）	1. 聞いたことがあり、内容も知っている 2. 聞いたことはあるが、内容は知らない 3. 知らなかった	独自	【目的】 子ども・若者の意見表明に関する意識や、意見を伝えるうえでの障壁の把握 【検討】 意見を反映しやすい環境や仕組みづくりを検討し、調査を通じて、子ども・若者自身の権利への理解や関心を高める ※子どもの権利条約やこども基本法は、行政のみに対するものではなく、地域や家庭、社会全体が捉えるべき視点であり、行政はそれら全体に対して施策を講じる必要があると考え、身近な周りをイメージした回答をしてもらえるようにしています。
	40	子ども・若者のみなさんが、地域や家庭で、自分の意見を伝えやすい環境づくりをしたいと考えています。あなたは、どんな方法や手段があれば、自分の意見を伝えやすいと思いますか。（あてはまるものすべてに○）	1. 市役所などの市の施設で、対面で伝える 2. 自分の学校で、対面で伝える 3. 公園や児童館、カフェなど普段自分が利用する場所で、対面で伝える 4. 電話や通話アプリで伝える 5. 手紙で伝える 6. メールで伝える 7. インターネットのアンケートに答える 8. オンライン（インターネット上）の会議で伝える 9. SNS（LINE・X（旧Twitter）・Instagramなど）で伝える 10. その他（ ） 11. 伝えたい意見はない	独自	
	41	あなたは、どんな工夫やルールがあれば、自分の意見を伝えやすいと思いますか。（あてはまるものすべてに○）	1. 匿名で（自分が誰か知られずに）伝えることができる 2. 意見の伝え方や伝える意見のテーマについて、前もって学ぶ機会がある 3. 伝えた意見がどのように扱われるかがわかる 4. 意見を伝える場に、友だちや知り合いと一緒に参加できる 5. 自分の意見を聴く人がどんな人か、前もってわかる 6. 伝えたい内容をうまく引き出してくれる役割の人がいる 7. 意見を伝えるときに、身近な信頼できる人がそばにいる 8. 他の人の意見も知ることができる 9. 伝えた意見が制度や政策に反映されるところまで関わるができる 10. 伝えた内容が公開されない（秘密にしてくれる） 11. 自分の意見を他の人が代弁してくれる 12. 意見を伝える場に、友だちや知り合いがいない 13. 謝礼（お礼のお金）がもらえる 14. その他（ ） 15. 伝えたい意見はない	独自	
	42	あなたは、日常の情報（生活や趣味など）をどのように得ていますか。（あてはまるものすべてに○）	1. 企業・団体の公式サイト 2. ニュースサイト・ニュースアプリ 3. 個人のSNSやブログ 4. SNS（LINE・X（旧Twitter）・Instagramなど） 5. 新聞（オンライン版を含む） 6. テレビ・ラジオ 7. 本・雑誌（フリーペーパーを含む） 8. 友人・知人から聴く 9. 家族やその他の親族から聴く 10. 地域や学校の人から聴く 11. 情報は得ていない 12. その他（ ）	独自	【目的】 日常の情報の取得先の把握 【仮説】 日常の情報の取得先に、行政情報を展開することで、受動的な情報取得でも行政情報を周知できる可能性 【検討】 日常の情報の取得時に行政情報を取得する機会の検討
	43	あなたは現在の市の取組や行事にどのくらい関心がありますか。（あてはまるもの1つに○）	1. 関心がある 2. どちらかといえば、関心がある 3. どちらかといえば、関心がない 4. 関心がない	独自	【目的】 栗東市の事業や政策に対する関心度と、情報の入手手段の把握 【仮説】 関心がない人は行政情報の取得先を認知していない可能性 【検討】 効果的な広報の見直しや施策への関心を高める方策の検討
	44	あなたは、栗東市（市役所）の制度や政策について、どのように情報を得ていますか。（あてはまるものすべてに○）	1. 栗東市のホームページ 2. 広報紙 3. 栗東市公式SNS（LINE、Facebook、YouTubeなど） 4. 新聞（オンライン版を含む） 5. テレビ・ラジオ 6. ニュースサイト・ニュースアプリ 7. 本・雑誌（フリーペーパーを含む） 8. 個人のSNSやブログ 9. 友人・知人から聴く 10. 家族やその他の親族から聴く 11. 先生から聴く 12. 情報は得ていない 13. その他（ ）	独自	
	45	あなたは、栗東市（市役所）の制度や政策の情報をどのように得たいと思いますか。（あてはまるものすべてに○）	1. 栗東市のホームページ 2. 広報紙 3. 栗東市公式SNS（LINE、Facebook、YouTubeなど） 4. 新聞（オンライン版を含む） 5. テレビ・ラジオ 6. ニュースサイト・ニュースアプリ 7. 本・雑誌（フリーペーパーを含む） 8. 個人のSNSやブログ 9. 友人・知人から聴く 10. 家族やその他の親族から聴く 11. 先生から聴く 12. 情報を得たいと思わない 13. その他（ ）	独自	【目的】 行政情報の取得先と希望する取得先の把握 【仮説】 現在の行政情報の発信媒体が、対象者が求める情報入手手段と合っていない可能性 【検討】 行政情報の入手手段における潜在的ニーズを踏まえた発信方法の検討
	46	あなたは、栗東市（市役所）が取り組む若者の施策にどんなことを望みますか。（あてはまるものすべてに○）	1. 参加しやすいイベントなどの情報を提供する 2. 自分の意見を発表できる機会を確保する 3. 地域活動や社会参加の機会を確保する 4. 青少年や若者に関するボランティア等の活動を支援する 5. 経済的な困難を抱えている家庭を支援する 6. 悩み等を相談できる窓口を充実する 7. 虐待を受けている人、虐待を受けた経験のある人を支援する 8. ホットとできる居場所を提供する 9. 学校に行けない人、社会に出られない人が自立できるよう支援する 10. 学校教育を充実する 11. 青少年の非行や犯罪防止などの取組や環境づくりを進める 12. 就職に向けた相談やサポート体制を充実する 13. 安心して出産・子育てのできる環境づくりを進める 14. 若者が結婚しやすい環境をつくる 15. キャリア形成支援やライフプランニング教育を進める 16. 消費者教育や金融リテラシーの向上に向けた取組を進める 17. 本人以外の家族でも相談できる窓口の推進 18. その他（ ）	独自	【目的】 子ども・若者が行政に最も何を望んでいるかの把握 【検討】 これまでの質問で網羅しきれなかった意見や要望等の回答から、より実態に即した施策の検討